

令和5年度 八戸駅周辺まちづくり全体会議 (令和5年8月11日)実施報告書

目 次

1. 日時・場所及び出席者	2
2. 会議の様子	3

令和 5 年 8 月
八戸市都市整備部
都 市 政 策 課

1. 日時・場所及び出席者

タイトル：令和5年度 八戸駅周辺まちづくり全体会議

日時：令和5年8月11日（金） 14:00～16:10

場所：ユートリー 5階 視聴覚室

参加者：【盛り上がり隊】

箱崎 真也 様	箱崎 彩英子 様	工藤 騰 様
田中 健太郎 様	鳥谷部 勇樹 様	上野 茂宣 様
岡田 英 様	石橋 龍也 様	在家 正行 様
吉田 悠馬 様		

【まちづくり準備協議会】

村下 萬 様	田島 尚幸 様	馬渡 健 様
--------	---------	--------

【クロススポーツマーケティング株式会社】

木村 将司 様	木村 有仁 様	畑中 佳子 様
---------	---------	---------

【学識経験者】

柏の葉アーバンデザインセンター副センター長	三牧 浩也 様
まちなか広場研究所（マチニワアドバイザー）	山下 裕子 様
八戸工業大学工学部教授	武山 泰 様

【その他参加者】

木村 聡 様	柳沢 拓哉 様	原 信一 様
三浦 啓伸 様	浅井 純子 様	

【NTT SSPP】

松村 若菜 様	大成 洋二郎 様	野本 由起 様
海老澤 芳辰 様	大森 有紀子 様	

【事務局】

都市政策課	石橋 敏行	次長
	田鎖 隆	参事
	八森 明広	主幹
	高橋 司	技師
	田村 滯	技師
市民連携推進課	川村 幸男	主幹
	上村 侑平	主査

2. 会議の様子

【第1部】

1. 開会

定刻に開会した。



写真1：会場の様子①



写真2：会議の様子②

2. 主催者挨拶

(事務局 石橋)

まちづくり全体会議は令和2年度に開催しまして、令和3年度、令和4年度はコロナの影響で中止せざるを得ない状況となってしまう、今年度久しぶりに開催することができた。参加者を募ったところ約30名とこれほど多くお集まりいただいたということで、八戸駅周辺地区のまちづくりに関心のある方が多いのだろうと感じている。

駅西地区の状況を簡単に説明すると、北辰工業さんのトランポリンパークのエルロンウェストビレッジの工事が進んでおり、わくわく感が湧いてきたのではないかと感じている。盛り上がり隊では数年前に比べると、大きなイメージだけで終わるような会議ではなく、具体的なイベントの話も出てきて一歩ずつ着実に実りつつあるように感じている。

本日はまちづくり準備協議会の皆様や盛り上がり隊の皆様などいろいろな方にお集まりいただいているので、この会議を通してまちづくりについて議論できればと思う。

3. まちづくりの経緯と状況の報告

※八戸駅西地区のまちづくりにおける経緯と状況について報告

これまで、まちづくり準備協議会や盛り上がり隊などでまちづくり活動がそれぞれで行われてきた中で、皆様が一堂に会して今後の活動について議論できる場になればと思い、開催させていただいた。

平成30年にフラットアリーナを核としたまちづくり計画を作って進んできた。この計画の中で、フラットパークでは体操やヨガをするイメージ図を描いていたが、このあたりはまさに盛り上がり隊の箱崎さんを中心に動いていただいて、描いていたものが実現してきている。

本日は観光関係や大学などの先生方など様々な立場の方々にお集まりいただいたので、少しでもこれからのまちづくりに繋がるアイデアやご意見をいただければと思う。



図：まちづくり計画のイメージ図



写真3：盛り上がり隊によるラジオ体操の様子

4.アドバイザーによるミニ講演

(1) 八戸駅西のこれからに向けて イベントと開発とまちづくり …………… 三牧 浩也

本日の会議のように、地元でまちづくりの活性化に取り組まれる方や実際に開発に関わる方々、行政の方、大学の先生方などいろいろな立場の人たちと一緒に同じ地区のことを議論する場があるということがとても大事になる。

開発はゆっくり進むが、盛り上がりや地域の賑わいを作ったりいろいろな人を巻き込んでいくことはイベントを介して進められるので、この繋がりが大事になってくる。

エルロンウェストビレッジさんの開発も始まったところだが、イベントや地域のコミュニティなどのソフト面で着実に繋がりが合いながら前に進んできているところは素晴らしいと思う。

八戸駅西でのイベントと開発に関していうと、スマートスポーツシティというコンテンツテーマがあり、広域八戸の玄関口、新幹線の駅前という素晴らしい立地と空間をどう生かすかというところをポイントにイベントも開発も考えていかなくてはいけない。持続的なまちづくりを目指すためには建物が建つ前から様々なイベントごとを通じて人が集まるイメージを作り、需要を掘り起こすことで仲間を増やし、一緒に議論する場を続けていくための仕組み作り、体制作りが大切だと考えている。



写真4：三牧 氏

(2) 生きた景観が自ずと持続する広場の在り方について～皆生温泉実践編～ …………… 山下 裕子

これまで車のための道路という考え方が主だったが、イベントや憩いや活動などの、人が安全に安心して滞留行動を起こせるような道の在り方について見直されてきていて、鳥取県米子市の皆生温泉での取り組みはその先進事例になり得る話ではないかと思う。

皆生温泉では低未利用地や屋台を使って毎月場所を変えてイベントをしており、屋台の貸出や土地の利用方法についてどういう手立てがしているのかをしっかりと情報を整理して公開することによって、いろいろな人にとって使える場所として認知していただいている。

八戸には駅前の素晴らしい空間や三社大祭をはじめとしたたくさんの営みがある。生きた景観を作る上で必要な三本柱である空間、営み、支える仕組みの中で、いまの八戸は支える仕組みについて本格的に始動させていく時期にきていると思う。

市の前任担当者が異動後も活動に関わっているのは本当に素晴らしいことで、そういった方々が自分の専門性を活かして関わりたくなる、活動しやすいような、UDC 的な存在を目指してほしい。



写真5：山下 氏

【第2部】

5.八戸駅かいわいで盛り上がり隊の取り組み紹介

(盛り上がり隊 箱崎 真也)

盛り上がり隊の活動趣旨として、フラット八戸さんやこれからできるエルロンウェストビレッジさんなどで八戸駅周辺がすごく賑わう場所になっていくと思うが、商業施設だけではなく、地域住民も主体的にどんどん動いて、活気あるまちづくりをする地域にしたいというのが私たちが目指す姿になる。外野的でいるのでは決してなく、自分たちから盛り上げていって、事業者やこの地域の外の人に、楽しそうな地域だな、この住民の盛り上がりがあると来なくなるな、と思ってもらえるような地域を目指して活動している。



写真6：箱崎 真也 氏

これまではコロナ禍ということもあり、あまり接触ができない中でみんなで運動できるものということで、ラジオ体操を三条小学校さんや東北フリーブレイズさんとコラボさせていただきながら続けてきた。

今年は 9/30(土)にシンボルロードを歩行者天国にしたイベントを実施する予定で、地域の学校の生徒さんの発表の場であったり、上長公民館の名手の皆様方と盆踊りをしたりと八戸駅かいわい地域住民によって活気を創出するようなイベントになればと思っている。

地域住民はもちろん、事業者や集まってくれる人みんなにとってプラスになるような活動を続けていきたい。

6.意見交換

(北辰工業 田島 尚幸)

トランポリンパークのエルロンウェストビレッジについて、いま工事が着工していて年内にはほとんどの外観ができ、5月に開業する予定。

老若男女が楽しめる全天候型の施設で、厳冬地の八戸にとっては運動不足解消にも繋がるすごく貴重な存在になるのではないかと思う。ジャンプするだけで特別な身体能力が必要ない、本当に誰もが楽しめる笑顔になる施設なので、八戸駅西のスマートスポーツシティというまちづくり計画に相応しい施設になるのではないかと感じている。



写真7：田島 氏

競技用のオリンピックで使うようなトランポリンも用意していて、開業時のオープニングイベントや広場などでイベントが行われるときにパフォーマンスで飛んでもらうようなことを考えているので、こういったことでも一緒に盛り上げていきたいと思っている。

我々北辰工業はトランポリンパークをしたいわけではなく、スマートスポーツシティというまちづくり計画のもとでまちづくりをしたくてこういった事業を行っているので、この施設をうまく利用していただく形で、盛り上がり隊の方々やフラット八戸さんと一緒に駅西全体がステージになるような盛り上げをしていきたい。

(フラット八戸 木村 将司)

フラット八戸開業後3年半が経つが、フラット単独だけの発展は絶対なく、今日お集まりいただいた八戸駅周辺の皆様、地域全体の発展と一心同体だと思っている。

フラット八戸の単独でのイベントだと、キッズ無料デーという中学生以下に無料でスケートリンクを開放しているイベントがある。集客数が1日1,000人弱くらいのイベントとなっていて、9/30(土)の盛り上がり隊の皆さんがやられるイベントのような、他のイベントと共同で実施できることは我々としても悲願だったので、新たなスタートということで積極的に関わっていきたいと思っている。



写真8：木村 将司 氏

(VISIT はちのへ 木村 聡)

駅西も駅東も一緒にこの界限全体が元気になる、盛り上がっていくことが大事なんだろうと思っている。今までなかなか予定が合わず一度も盛り上がり隊の活動に参加できていなかったのが今回お話を聞いて本当に良かった。箱崎さんたちがとても楽しそうにやっているのが印象的で、私がやっているせんべい汁研究所もそうだが、やっている本人たちが楽しまない限り来たお客さんにも楽しんでもらえないので、笑顔を忘れずに楽しいことをどんどんやることが活動を続けていくポイントだと思っている。



写真9：木村 聡 氏

(まちづくり八戸 柳沢 拓哉)

トランポリンパークなどかなり具体的な話が見えてくると、人が集まってくるきっかけが今年、来年にできてくるのだなと思いとでもわくわくした。

岩手県紫波町にオガール紫波という複合商業施設があり、そのアリーナはバレーボールのプロチームの合宿にも活用されていてバレーボールに特化した町。

そして先日、紫波町のふるさと大使に八戸南部藩第16代当主の南部光隆さんが任命されたそうで、紫波町と八戸市を繋ぐポイントとして、他にもお酒を造っている繋がりもあるので、オガール紫波とフラット八戸でタイアップしたような企画が今後あると面白いと思った。



写真10：柳沢 氏

(三条小学校 在家 正行)

教育という学校長の立場から、地域の施設がみるみる充実していき、まちづくりが着実に行われているのを感じている。

人格の形成には環境要因というのが非常に大きい側面を持っている。そういった意味で、積極的に皆さんが共同してまちづくりをしているというところ、その中で本校や地域周辺の子供たちが暮らしているということ自体が、いい方向で人間形成が行われていると思っている。

また、子供たちもいろいろな関わり方をしながらまちづくりに参画することでさらに成長してほしいと思う。



写真11：在家 氏

(盛り上がり隊 吉田 悠馬)

慶應義塾大学総合政策学部で教育とまちづくりの研究をしている。

今年の3月に研究会で八戸市での研究合宿を開催して、その後、八戸のまちづくりをテーマにした授業が大学として正式に開講されることが決まった。それをきっかけとして、継続的に慶應義塾大学と八戸市の関わりを作っていけたらと考えている。

私自身、大学院に進学し研究を継続していきたいので、今後こういった形かはまだわからないが地元に貢献したいと考えている。



写真12：吉田 氏

(NTT SSPP 松村 若菜)

NTT グループ全体でどんな風にまちづくりに関与できるかということ普段考えており、八戸市で行っているスポーツを核としたまちづくりのプロセスや、皆さんのコミュニティの在り方が、全国の様々な自治体のまちづくりに関わっている方々にとってヒントになり得るということで、今回取材をさせていただいている。

Web のポータルサイトで記事にして公開させていただきたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひします。



写真13：松村 氏

(フラット八戸 畑中 佳子)

フラット八戸の地域連携担当として関わらせていただいている。盛り上がり隊には昨年 10 月から参加していて、とても楽しく活動させていただいている。よろしくお願いします。



写真14：畑中 氏

(盛り上がり隊 岡田 英)

普段は市議会議員をしているが、ずっと箱崎さんと関わりを持たせていただいている盛り上がり隊に参加している。

箱崎さんご夫婦は先日ラジオ体操の資格を取りに行かれて、この活動に非常に熱心に取り組んでいる。箱崎さんご夫婦がいなければこの活動もここまで続いていると思う。

エルロンウェストビレッジなどの施設が出てきている中で、少しずつ仲間を増やしながらもっともこの盛り上がりを大きなものにしていきたい。



写真15：岡田 氏

(盛り上がり隊 上野 茂宣)

上長地区町内連合会の会長を務めている。

地区の人口が増えている割には盛り上がりがないのはなぜだろうかと思っていたが、昔は向こう三軒両隣という絆があったが、最近是全国的に向こう三軒無関係というような風潮があるように思う。せっかく人が増えているのだから絆を持って少しでも集まる雰囲気を作っていければと思い町内会としても盛り上がり隊と共同でまちづくりをやってきた。

VISIT はちのへの木村さんの話にあったように、駅東も駅西も一緒に八戸駅かいわいということで全体で取り組んでいるのでご理解いただければと思う。



写真16：上野 氏

(盛り上がり隊 鳥谷部 勇樹)

普段は JR 東日本で新幹線の車掌をしている。

私も昨年から盛り上がり隊に参加している。この活動を知ったきっかけは、職場の先輩から八戸市こういう活動しているよと教えてもらったこと。その地域に住んでいる人だけでなく、いろいろな地域のまちづくりに興味がある人って様々なところにいるのだなと思った。駅直結でイベントがあると人は必ず集まるので、それが且つ新幹線の駅ということでいろいろなところから人を呼ぶ力はあると思うので、そういったところで地域に生きる会社としてまちづくりの力になれたらと思う。



写真17：鳥谷部 氏

(盛り上がり隊 田中 健太郎)

普段はアイスホッケーの選手として活動しており、東北フリーブレイズの運営会社のほうで社員を務めている。

盛り上がり隊には2年前にラジオ体操に参加させていただいて、楽しくてすごいわくわくをもらったので、それをきっかけに八戸市をどのように盛り上げていけるかというのを一緒に考えながらやらせていただいている。

東北フリーブレイズとしては、皆様のご協力もあって無事に15周年を迎えることができた。

我々チームだけでなく八戸市がさらに発展できるように皆さんと一緒に協力しながら盛り上げていければと思う。



写真18：田中 氏

(八戸工業大学 武山 泰)

盛り上がり隊にはときどき参加させていただいている。いま駅前の保留地に関するプロポーザル審査委員会の委員長を務めさせていただいている。

これから委員会があるかと思うが、厳正に評価させていただきたいと思う。



写真19：武山 氏

(盛り上がり隊 工藤 騰)

普段は映像の制作やイベントの制作などをやっている。

2年前くらいから盛り上がり隊に参加している。

エルロンウェストビレッジはとても魅力的な施設で、おそらく東北一の注目を浴びていると思うので、そこやフラット八戸とも連携して、体を動かして笑顔になるというコンセプトを大事に皆さんと盛り上がっていったらと思う。



写真20：工藤 氏

(盛り上がり隊 箱崎 彩英子)

先ほどご紹介いただいたとおり、先日主人と子供2人を連れて福島県で講習を受け、ラジオ体操指導員資格というものを取ってきた。特別な資格ではないが、この活動をきっかけにこういう世界を知ることができた。

伸びしろだらけの地域、これからどんどんわくわくが広がっていく地域に住んでいることにとても誇りを持って本日の会議に参加している。

私たちも一市民なので大きな力を持っていないが、一人一人の小さな力が集まれば大きな動きに繋がると思っているので、これからも楽しく全力に笑顔で活動していきたいと思う。



写真21：箱崎 彩英子 氏

(まちづくり準備協議会 村下 萬)

私がやらせていただいている駅前の駐車場もいろいろな人にご利用いただいでいて、駅周辺の盛り上がりを感じている。

まちづくり準備協議会の会長を務めさせていただいているので、皆さんからいろいろご指導いただきながら取り組んでいければと思う。



写真22：村下 氏

7.会議の振り返り

(アドバイザー 山下 裕子)

本当に多様な方が参加されている素晴らしい会だと思う。これからの八戸の盛り上がりがとても楽しみ。引き続きよろしくお願いします。

(アドバイザー 三牧 浩也)

本当に素晴らしいわくわくする会でいろいろ元気をもらった。

田島さんがトランポリンを外でもできるようにと仰っていたのがとてもいいなと思った。やはり建物の中でできるのはもちろんいいが、それが街中に出てくる、見えるということがわくわく感を高める上でとても高い効果が出ると思う。外からこの町のわくわくをどんどん作って最後それが形になってシンボルロード両側にできていくような、最初に漠然と描いていたストーリーが本当にできるのではないかという実感を今日強く持った。今後とも引き続きよろしくお願いします。

(事務局 石橋)

皆さんかなり八戸駅かいわいについて熱い思いを持っているのだなと今日改めてわかった。

上長地区町内連合会の上野会長からもお話があったように、八戸駅西地区で盛り上がり隊から八戸駅かいわいで盛り上がり隊に名称を変えて、八戸駅周辺を全体的に盛り上げていけたらという趣旨で活動してきた。本日はエルロンウェストビレッジさんや盛り上がり隊のイベントの話など非常に具体的な思いを聞いたのではないかなと思う。

なんとかこのまま勢いづけて続けていけるように、皆さんのご理解ご協力をいただきながらまちづくりに取り組んでいければと思う。今後ともよろしくお願いします。

8.閉会



写真23：ラジオ体操指導員資格を
取得した箱崎ご夫婦



写真24：取材班の様子